

手持ち型口内法デジタルX線撮影用デバイス

【本学発明者】 有地 榮一郎（歯学部 歯科放射線学講座 教授）
清水 康行（歯学部 歯科放射線学講座 招へい教員）
蛭川 亜紀子（歯学部附属病院 放射線技術部技師長）

【関連特許情報】 『口内法X線撮影用補助具、並びに、口内法X線撮影具』
株式会社フラット、学校法人愛知学院
特願2016-202177

本学は平成28年度より、口腔内をX線で撮影する際に使用する手持ち型のデバイスを（株）フラットと共同で開発した。

これまでにあった技術的課題

口腔内をX線撮影する口内法撮影においては、患者自身、撮影者、もしくは歯科助手等が指を使って患者の口腔内の撮影箇所にイメージングプレートを押し当てる必要がある。そのため、患者の唾液が指に付着したり、指がX線で被爆したりするといった課題があった。

手持ち型撮影用デバイスの開発

上記課題を解決すべく、（株）フラットと共同で、イメージングプレートを先端部に装着できる手持ち型の撮影用デバイスを開発した。このデバイスは、先端部に装着したイメージングプレート患者の口腔内に容易に配置することができるので、指に患者の唾液が付着することも無く、X線被爆の危険性も無い。また、純チタン製のため、金属アレルギーの患者にも安心して使用できる。

現在、（株）フラットから「**スマートグリップIP**」の名称で販売されている。

【参考URL】 <http://www.k-flat.co.jp/index.html>

（株）フラットのホームページ

